

申請書記載例及び記入上の注意事項

様式第八（第六十条関係）

許可
破砕業
~~許可の更新~~申請書
許可・許可の更新のどちらか一方

※許可番号
※許可年月日

更新の場合は、
※印の欄に
許可番号と
許可年月日を記入
してください。

宮城県知事 殿

住所・氏名は、住民票又は登記事項証明書
に記載されているとおり、正確に記入して
ください。

(郵便番号) XXX-XXXX
住所 宮城県仙台市青葉区本町〇丁目△番□号
氏名 株式会社〇〇 代表取締役 宮城太郎
(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)
電話番号 022-211-〇〇〇〇

使用済自動車の再資源化等に関する法律第68条第1項の規定により、必要な書類を添
えて破砕業の許可（~~許可の更新~~）を申請します。

事業の範囲	破砕処理 破砕前処理
事業所の名称及び所在地	
名称	株式会社〇〇リサイクルセ
(郵便番号) XXX-XXXX	宮城県石巻市東中里〇丁

事業所が複数ある場合は、
後述の様式を使用して
記入してください。

- ・破砕施設及び破砕前処理施設の処理方式、型式名、
処理能力、設置基数
- ・保管施設に保管する物品の種類（廃車ガラ、
ASR等）、面積、床面の構造・材質、屋根の有無
- ・運搬車両・重機の種類、台数
- ・排水処理施設の種類、施設数
- 書ききれないときは別紙でも可
- ・事業所が複数ある場合は、後述の様式を使用し、
事業所ごとの施設の概要を記入してください。

事業の用に供する施設の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・破砕施設 シュレッダーマシン〇〇型（能力〇〇トン/日） 1基 ・せん断施設 ギロチン△型（能力□□トン/日） 1基 ・圧縮施設 プレス□型（能力〇△トン/日） 2基 ・保管場所（廃車ガラ・プレス）面積 〇㎡ 屋根・囲い有 ・運搬車両 4台（平ボディ2台、キャリアカー2台） ・プレスカー 2台 ・油水分離槽 〇〇㎡ 2基 	
当該施設について廃棄物処理 施設の設置の許可を受けてい る場合には、その許可の年月 日及び許可番号	廃プラスチック類の破砕施設 令和××年〇〇月□□日 第△△△△△号	
他に解体業又は破砕業の許可 （他の都道府県のものを含む 。）を有している場合にあって は、その許可番号（申請中 の場合にあっては、申請年月 日）	都道府県・市名	許可番号（申請中の場合に あっては、申請年月日）
	仙 台 市	令和〇年〇月〇日 解体業 申請中

他に廃棄物処理法に基づく産業廃棄物処理業の許可（他の都道府県のものを含む。）を有している場合にあっては、その許可番号（申請中の場合にあっては、申請年月日）	都道府県・市名	許可番号（申請中の場合にあっては、申請年月日）
	宮 城 県	第 0400XXXXXX 号（収取運搬）

破砕業を行おうとする事業所以外の場所で解体自動車又は自動車破砕残さの積替え又は保管を行う場合には、当該場所の所在地、面積及び保管量の上限	株式会社〇〇 廃車集積場 宮城県〇〇市△△1丁目2番3号 保管場所 〇m ² 保管量上限 〇〇台
--	--

役員の名前及び住所（業務を執行する社員、取締役、執行役又はこれらに準ずる者をいい、相談役、顧問その他いかなる名称を有する者であるかを問わず、法人に対し業務を執行する社員、取締役、執行役又はこれらに準ずる者と同様以上の支配力を有するものと認められる者を含む。法人である場合に記入すること。）

(ふりがな) 氏 名	役職名	住 所
みやぎ たろう 宮城 太郎	代表取締役	仙台市泉区〇〇2丁目△番地□
みやぎ はなこ 宮城 花子	取締役	仙台市泉区〇〇2丁目△番地□
せんだい じろう 仙台 次郎	監査役	多賀城市〇〇△△の□
まつしま さぶろう 松島 三郎	相談役	宮城郡松島町松島字〇〇

令第5条に規定する使用人の氏名及び住所（当該使用人がある場合に記入すること。）

(ふりがな) 氏 名	住 所
該 当 な し	

使用人とは、申請者の使用人で次に掲げるものの代表者であるものをいいます。

- 1 本店又は支店（商人以外の者にあっては、主たる事務所又は従たる事務所）
- 2 継続的に業務を行うことができる施設を有する場所で、解体業に係る契約を締結する権限を有する者を置くもの。

法定代理人の氏名及び住所（未成年者であり、かつ、その法定代理人が個人である場合に記入すること。）

(ふりがな) 氏 名	住 所
該 当 な し	

法定代理人の名称及び住所並びにその代表者の氏名（未成年者であり、かつ、その法定代理人が法人である場合に記入すること。）

名 称	該 当 な し
(ふりがな) 代表者 の氏名	
住 所	(郵便番号) 電話番号

法定代理人の役員の氏名及び住所（業務を執行する社員、取締役、執行役又はこれらに準ずる者をいい、相談役、顧問その他いかなる名称を有する者であるかを問わず、法人に対し業務を執行する社員、取締役、執行役又はこれらに準ずる者と同程度の支配力を有するものと認められる者を含む。未成年者であり、かつ、その法定代理人が法人である場合に記入すること。）

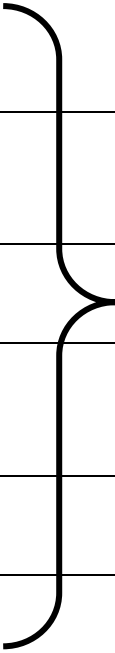
(ふりがな) 氏 名	役職名	住 所
該 当 な し		

発行済株式総数の100分の5以上の株式を有する株主又は出資の額の100分の5以上の額に相当する出資をしている者（法人である場合において、当該株主又は出資をしている者があるときに記入すること。）

(ふりがな) 氏名又は名称	住 所	保有する株式の数 又は出資の金額
みやぎ たろう 宮城 太郎	仙台市泉区〇〇2丁目△番地□	五千株
みやぎ はなこ 宮城 花子	仙台市泉区〇〇2丁目△番地□	三千株
かぶしきがいしゃまるさんかく 株式会社〇 △	仙台市太白区〇〇町□番地△	二千株

標準作業書の記載事項

解体自動車の保管の方法	} 別添 標準作業書のとおり
解体自動車の破砕前処理を行う場合にあつては、解体自動車の破砕前処理の方法	
解体自動車の破砕を行う場合にあつては、解体自動車の破砕の方法	

排水処理施設の管理の方法 (排水処理施設を設置する場合に限る。)		別添 標準作業書のとおり
解体自動車の破砕を行う場合にあっては、自動車破砕残さの保管の方法		
解体自動車の運搬の方法		
解体自動車の破砕を行う場合にあっては、自動車破砕残さの運搬の方法		
破砕業の用に供する施設の保守点検の方法		
火災予防上の措置		
△手数料欄		

- 備考
- 1 △印の欄は、記入しないこと。
 - 2 ※印の欄は、更新の場合に記入すること。
 - 3 事業所が複数ある場合には、「事業所の名称及び所在地」から「当該施設について廃棄物処理施設の設置の許可を受けている場合には、その許可の年月日及び許可番号」までの欄を繰り返し設け、事業所ごとに記載すること。
 - 4 「事業の用に供する施設の概要」の欄については、当該施設の構造を明らかにする図面等を添付することでも可能とする。
 - 5 「役員の氏名及び住所」の欄その他の氏名又は名称及び住所の記載を要する各欄については、該当するすべての者を記載することとし、記載しきれないときは、この様式の例により作成した書面に記載して、その書面を添付すること。
 - 6 「標準作業書の記載事項」の欄については、当該標準作業書の全文の写しを添付することでも可能とする。
 - 7 用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

事業所の名称及び所在地	
名 称	
所在地	(郵便番号) 電話番号
事業の用に供する 施設の概要	
事業所の名称及び所在地	
名 称	
所在地	(郵便番号) 電話番号
事業の用に供する 施設の概要	
事業所の名称及び所在地	
名 称	
所在地	(郵便番号) 電話番号
事業の用に供する 施設の概要	

※ 事業所が複数ある場合には、この様式を使用してください。

誓 約 書

~~本~~（当社）は、下記について誓約します。

記

1 引取業者登録申請者誓約事項

使用済自動車の再資源化等に関する法律第45条第1項各号に該当しない者であること。

2 フロン類回収業登録申請者誓約事項

使用済自動車の再資源化等に関する法律第56条第1項各号に該当しない者であること。

3 解体業

使用済

破砕業の所に
○を付けてください。

第62条第1項第2号イからヌまでのいずれにも該当

しない者であること。

4 破砕業許可（変更許可）申請者誓約事項

使用済自動車の再資源化等に関する法律第69条第1項第2号に適合すること。

※誓約する事項の番号を○で囲んで下さい。

令和〇〇年 〇〇月 〇〇日

宮城県知事

殿

住 所 宮城県仙台市青葉区本町〇丁目△番□号

氏 名 株式会社〇〇 代表取締役 宮城太郎

（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）

破砕業事業計画書

令和 年 月 日 現在作成

1 事業の全体計画（業務を行う時間，従業員数，休業日，扱う車種（乗用車，大型車）を含む。）

解体業者から解体自動車を引取り，シュレッディングマシンで破砕後，鉄，非鉄金属及び A S R に分別する。 解体自動車をプレスして鉄スクラップ原料とする。 分別・処理した物品の取扱いは次のとおり。 ○鉄 電炉メーカーに売却 ○非鉄金属 非鉄金属商社に売却 ○A S R 自動車メーカーなどの指定する引取場所に引渡し （フロー概略図を添付（省略））					
業務時間	8:30 ~ 17:15	従業員数	10名	休業日	日曜日・祝祭日

2 解体自動車等の引取実績及び計画

年 度	令和元年度実績 （3年前）	令和2年度実績 （2年前）	令和3年度実績 （1年前）	許可取得後の 年間計画
引取台数	20,000 台	22,000 台	24,000 台	25,000 台
主な引取先	○○解体株 (有)○×環境 その他県内解体業者	○○解体株 (有)○×環境 その他県内解体業者	○○解体株 (有)○×環境 その他県内解体業者	○○解体株 (有)○×環境 その他県内 解体業者

新規申請者で，既に解体業の許可がある場合にはその実績を記載してください。

3 破砕（破砕前処理）実績

年 度	令和元年度実績 （3年前）	令和2年度実績 （2年前）	令和3年度実績 （1年前）
年間処理実績	20,000 台	22,000 台	22,000 台
年間稼働日数	280 日	280 日	280 日
平均処理実績	71 台/日	79 台/日	79 台/日

新規申請者については記載不要

4 破砕等能力

1日当処理能力	稼働予定日数	年間処理能力
100 台/日	280 日	28,000 台

5 保管の状況

解 体 自 動 車		A S R	
保管量の上限	1,200 台	保管量の上限	7,000 m ³
現在保管量	1,000 台	現在保管量	22,000 m ³

破碎業年間収支見積書

新規申請者については記載不要

項 目		前年度(令和2年)(決算月(3月))		今年度の見込み(決算月(3月))	
		年度(千円)	(1台当)(円)	年度(千円)	(1台当)(円)
売上高(全体)	ア	276,000	12,000	524,000	20,000
売上原価	イ	-120,000	-5,000	75,000	3,000
その他の経費	ウ	269,100	11,700	235,800	9,000
	うち廃棄物処理委託費 エ	92,000	4,000	2,620	100
営業収益	オ=ア-イ-ウ	126,900	5,517	213,200	8,137
営業外損益	カ(主に支払利息)	-3,000	-130	-3,000	115
経常利益	キ=オ+カ	123,900	5,387	210,200	8,023
解体自動車等年間引取台数		24,000		25,000	
解体自動車等年間処理台数		23,000		26,200	

(参考)

		前年度末	現在
負債総額(年度末残高)	(千円)	100,000	100,000

- (注) 1 「1台当」額は、売上原価は引取台数で、その他は処理台数で割ること。
 2 支払利息のみの場合又は支払利息が受取利息より多い場合はマイナスで計上すること。

事業計画書と矛盾しないように記載してください

申請者等の情報を記載する書面

氏 名 (申請者(個人の場合)役員, 使用人, 法定代理人, 5%以上株主又は出資者)	生 年 月 日
宮城 太郎	大正 昭和 ○○ 年 △△ 月 □□ 日 平成
宮城 花子	大正 昭和 ○△ 年 △□ 月 □○ 日 平成
仙台 次郎	大正 昭和 △△ 年 ○□ 月 □○ 日 平成
松島 三郎	大正 昭和 □□ 年 △○ 月 ○△ 日 平成
	大正 昭和 年 月 日 平成
<p>新規申請時のみ, 先行許可証(既に取得済みの解体業, 破碎業, 廃棄物処理法に基づく産業廃棄物処理業の許可証(当該許可の日から5年を経過していないもの)の原本(本県以外の許可証も可。ただし, 先行許可証の提出無く許可されたものに限る。))の提出により, 「住民票の写し」や「登記されていないことの証明書」等の添付書類を省略する場合には, この様式に申請者の情報を記載の上, 提出して下さい。 詳しくは, 「破碎業の新規・事業範囲の変更・更新許可申請の手引き」の3ページをご覧ください。</p>	
	平成
	大正 昭和 年 月 日 平成
	大正 昭和 年 月 日 平成